

健保
くみあい

加入者のための ワンポイント解説!

加入者の皆様にわが国の医療制度の課題や健保組合・健保連(健康保険組合連合会)の主張についてわかりやすく解説するものです。

2009年度の国民医療費は36.6兆円で、毎年約1兆円を超える規模で増加しています。このまま医療費の増加が続くと、保険料や国の公費負担だけでは到底まかなうことができません。

“医療費の増加をいかに抑えるか”——これは、健保組合だけでなく国全体で取り組むべき課題です。

健保組合は以下の事業により医療費の節減に取り組んでいます。

健診事業・健康増進事業の推進

国民医療費の約3割が、糖尿病や高血圧などの「生活習慣病」によるものです。

健保組合は、加入者の健康が第一と考え、特定健診・特定保健指導をはじめ

加入者の健康増進に積極的に取り組んでいます。

この健康への取り組みが、医療費の節減につながっているのです。

ジェネリック医薬品の利用促進

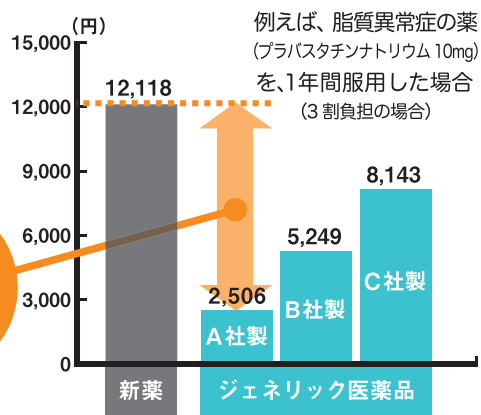
健保組合は、利用促進に向け積極的に広報を行うとともに、実際に効果が実感できるように、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の差額をお知らせする、「ジェネリック医薬品の差額通知」も行っています。

医療費の通知

健保組合は、加入者が使った医療費の内訳を通知しています。

これは、加入者に受診の事実の確認と、どれくらいの医療費が

かかったのかなど、医療費に対するコスト意識を持ってもらうために行っています。



日本ジェネリック医薬品学会「かんじゃさんの薬箱」より算出／2010年4月現在

健保組合・健保連は加入者の健康を守り、限りある医療保険財源を有効に活用することに取り組んでいます。このことが医療費の節減につながることから、国全体としても積極的に取り組むことを主張しています。